

北区特色ある区づくり予算事業について

区の課題解決、魅力発信などに、区として取り組む「特色ある区づくり事業」について、限られた予算を有効に活用するため、次の内容で作成していきます。

	区企画事業	自治協議会提案事業
事業内容	区 内 を 対 象 と し た ソ フ ト 事 業	
	<ul style="list-style-type: none"> ①区独自の課題解決に向けた取組 ②区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 ③区の自然・風土を活かした取組 ④区民との協働による取組 ⑤区民との協働を目指した取組 	<p>区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要な新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業</p> <p>※予算編成段階までには、事業の方向性や概算費用を決めることとし、詳細な内訳は執行段階までに決めることも可</p>
予算限度額	<p>2,900万円</p> <p>※各区に配分される予算額は、令和3年度と同規模を予定していますが、財政状況により予算編成過程で変更となることもあります。</p>	
事業期間	<p>原則3年以内 (ただし、事業評価を実施したうえで延長可)</p>	<p>1年</p>
予算確定までの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ①北区組織目標や地域課題を踏まえ、重点事業の方向性を共有した後、自治協議会委員から、重点事業に関連する事業提案を募集 ②委員提案事業について、自治協議会(部会)で検討 ③委員提案事業について、自治協議会(部会)で検討した結果を踏まえ、区が区企画事業と自治協提案事業等に分類 ④事業案を作成し、自治協議会(部会)で報告、意見聴取 ⑤意見等を受け、区長が事業原案を決定 ⑥市長に原案を説明し、予算は議会に諮る 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的に自治協議会から事業を提案 ②委員から提案された事業で自治協提案事業に分類された事業について、検討 ③区が自治協議会と協力し、事業実施に向けた検討を重ね、自治協議会において事業原案を決定する ④市長に原案を説明し、予算は議会に諮る
提出について	<p>(1)提出期限 令和3年7月20日(火)</p> <p>(2)提出先 北区地域総務課企画広報グループ</p> <p>(3)提出様式 様式は自由です。</p> <p>※参考様式を用意しましたのでお使いください(別紙)</p>	
その他	<p>委員から提案された事業については、北区各担当課が内容の確認や相談をお願いします。</p>	

令和4年度北区特色ある区づくり予算事業 予算編成スケジュール

	北区	自治協議会	各部会
6月	<p>【6月自治協議会】</p> <p>1 令和4年度区づくり事業予算編成スケジュール</p> <p>2 広い視野にたつて区全体で重点的に取り組む事業について、自治協でアイデアを出してもらい意見交換</p> <p>3 「委員提案事業」の募集 (提出期限:7月20日) 事業提案があった場合、関連する部会と担当課で実施方法や事業効果を検討し、必要なものについて、区企画事業又は自治協提案事業に分類し、令和4年度予算に計上する。</p>		
7月		<p>「委員提案事業」の提出締切(7/20)</p> <p>【7月自治協議会】</p> <p>「委員提案事業」について提出委員より報告</p>	
8月	各課で区企画事業案を作成		「委員提案事業」の部会検討
9月			
10月	<p>・「委員提案事業」の部会検討の内容を踏まえ、事業案を作成</p> <p>・必要性がある場合、区企画事業又は自治協提案事業に分類</p>	<p>【10月自治協議会】</p> <p>・令和2年度区づくり事業実績報告</p> <p>・令和4年度 区企画事業案について、北区各課から説明</p>	「委員提案事業」自治協提案事業として検討
11月			
12月		<p>【12月自治協議会】</p> <p>令和4年度区づくり事業案について北区各課から説明及び意見聴取</p>	

特色ある区づくり事業 意見・提案事業

別紙

氏 名：

電話番号：

事業提案や実施に係るアイデアを記載してください。

具体的な事業提案等の内容

【事業名】

【令和4年度北区組織目標に該当する項目がある場合、その項目】

【実施方法】

【効果】

※この用紙は参考です。この用紙によらない様式の提出でも結構です。

提出先：北区地域課総務課企画広報グループまで FAXまたはメールなどでご提出ください

FAX: 025-387-1020 Email: chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

締切: 令和3年7月20日(火)まで

特色ある区づくり予算事業の実施状況について

参考資料

【区企画事業】

◎事業概要

区内で実施するソフト事業が対象で、事業1件あたりの予算概ね5,000千円以下とします。
事業期間は原則3年以内。ただし、事業評価を実施したうえで延長可能。

事業名	担当課	事業内容	事業区分					新規・継続区分	R1予算額	R2予算額	R3予算額	R4予算額	R5予算額
			①	②	③	④	⑤						
■豊かな自然と共生するまち													
松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり	建設課	飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくりのため、官民協働での植栽等を行います。	①		③	④	新規				2,300	2,300	2,300
北区水辺環境の魅力発信事業	区民生活課	北区にある自然豊かな水辺の環境を保全するための仕組みを構築し、水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力を発信します。			③	④	継続 (2年目)		2,000	2,000		2,000	-
★地域協働で創る海辺の森	産業振興課	これまで行政が主体だった保全活動を、地元の住民やボランティア団体、大学などと連携した保全活動とするため任意団体に支援をします。また、地元の住民で実施する海辺の森の資源を活用したコミュニティビジネスを支援します。			③	④	継続 (3年目)	3,500	3,900	3,900		-	-
■活力ある産業のまち													
次世代農業の普及	産業振興課	農産物のブランド化などを通じた「稼げる農業」の仕組みづくりに、農作業の省力化を可能とするICT技術のモデル実施など「次世代農業」への取り組みを支援します。	①				新規				1,500	1,500	1,500
地域商業にぎわい創出プロジェクト	産業振興課	地域商業活性化、賑わい創出のテーマをもとに、テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出します。また、コロナ禍での新たな活性化事業に取り組みます。	①				継続 (2年目)		1,600	2,600		1,600	-
★魅力発信キタくなるプロジェクト	産業振興課	新型コロナウイルス収束後の交流人口拡大を目指し、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を図ります。		②			継続 (3年目)	3,000	3,000	3,000		-	-
■学びあい、健康で、人にやさしいまち													
北区エンjoyスポーツ事業	産業振興課	ウィズコロナの状況下でも区民が安心して参加できるスポーツ大会や体験会などを開催するほか、身近な場所のできる運動の普及を図ります。また、自然に親しみながら歩く、北区元旦歩こう会を開催します。				④	新規				1,500	1,500	1,500
木崎村小作争議100周年事業	地域総務課	農民運動として全国的に有名な「木崎村小作争議」について、100周年を迎える令和4年度に予定する郷土博物館での企画展の開催などに向け、地主側などの資料所在調査や、指定文化財の修復に取り組みます。		②			継続 (2年目)		300	1,500		500	-
北区子育ての応援	健康福祉課	市民向け・支援者向けの子育て支援講座や、親子で楽しめる子育てイベントの開催、北区子育て情報のLINE配信により、子育てを応援します。				④	継続 (2年目)		2,400	3,500		2,400	-
北区もの忘れ検診	健康福祉課	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスに繋げるため、北区の65歳以上の希望者に対して、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。				④	継続 (2年目)		800	800		800	-
大学生による家庭介護セミナー	健康福祉課	高齢化や核家族化が進み、高齢者同士による介護が増加していることを受け、新潟医療福祉大学の学生を講師としたセミナーを開催することで介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようになります。				④	継続 (2年目)		300	300		300	-
★地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業	地域総務課	新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へ、ひとづくり・まちづくりを連携・協働するタッグパートナーを派遣します。	①			④	継続 (3年目)	1,600	1,600	1,600		-	-
■安心安全で暮らしやすいまち													
地域防犯力向上	区民生活課	地域で活動する自主防犯団体による意見交換会などを開催し、活動ノウハウや危険箇所などの情報共有により、活動の強化、防犯力向上を図ります。また劣化した不法投棄防止看板を改修することで治安維持を図ります。	①			④	新規				500	500	500
★地域防災ひとづくり	地域総務課	今後、防災士が地域で活躍するために必要な、知識や技術のスキルアップと併せて、訓練現場での指導技術を防災訓練の企画運営、訓練種目の指導などの実習を通して習得するとともに、防災訓練に必要な指導の手引きを作成します。				④	継続 (3年目)	600	600	1,200		-	-
※ 事業名の前に「★」がついている事業は、令和3年度で終了								計	8,700	14,500	26,200	11,100	3,500

【自治協提案事業】

◎事業概要

区内を対象としたソフト事業で、区自治協議会が提案する地域課題の解決に必要な新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業。
事業期間は原則1年。ただし、事業評価を実施したうえで延長可能。

事業名	関連部会	事業内容	R3 予算額
めざせ防災力向上！	地域づくり	万が一の災害に備え、防災の基礎知識やコロナ禍における防災などを学ぶ講座やイベントなどを企画し実施します。また、幅広い世代に関心を持ってもらえるような工夫を施し、地域全体の防災意識の向上を図ります。	900
「あったか言葉」っていいね	福祉教育	家族へ、友だちへ、恋人へ、地域の人へなど様々な対象に対する、思いやりのある言葉、「あったか言葉」を幅広い世代に募集します。また、その言葉を様々な方法で発信、啓発していくことで、北区に広げ、思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりにつなげます。	900
北区 自然の魅力発信事業	自然文化	湯や桜など地域の自然の魅力を発信します。湯については、福島湯の魅力PR動画を制作するほか、十二湯、内沼湯、ひょうたん池の魅力発信なども取り組みます。また、桜をはじめとした北区の自然の魅力を見つめ直し、パンフレットや写真入りカレンダーの製作などを通して、それらの魅力を区内外へ広く発信します。	1,000

◎事業区分

- ① 独自の課題解決に向けた取り組み
- ② 区の伝統・文化など区の魅力を活かした取り組み
- ③ 区の自然・風土を活かした取り組み
- ④ 区民との協働による取り組み
- ⑤ 区民との協働を目指した取り組み

◎令和2年度までに終了した事業の内容

事業名	事業内容	事業区分
松浜海岸の環境整備と地域活性化	松浜海岸に隣接する民家等への飛砂防止について、地域住民と協働し、植樹活動などにより、生活環境の改善に取り組みます。	① ③ ④
北区賑わいづくり	北区内全体の発展、賑わいの創出を図るため、まちづくりに向けた取り組みを行うほか、新崎駅の拠点化に向けた地域住民による協議会等の活動を支援するとともに、駅連絡通路や駅周辺の活用をともに考えます。	① ④
「次世代農業」推進	農産物のブランド化等を通じた「稼げる農業」の仕組みづくりに、農作業の省力化を可能とするICT等の新技術導入という視点を加えた、「次世代農業」への取組を支援します。	①
夏休み公共施設利用促進事業	夏休み期間中の子どもたちに、区内の公共施設を活用し、多様な体験をしてもらうため、各公共施設の情報を発信するとともに施設へのアクセスが不便な地域の交通手段を確保します。	① ②
介護予防のための専門職派遣	高齢者の日中の居場所やコミュニティセンターへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催します。	④
北区総合スポーツ事業	さまざまな競技による総合スポーツ大会を開催し、併せて気軽にスポーツを楽しめるイベントも実施することで、区民の一体感を高め、スポーツを愛好できる機運を醸成します。	④
地域商業魅力創生プロジェクト	地域商業活性化のため、設定したテーマを用いた商品・コンテンツ開発やPR展開を行い、各個店等において使用することで、新規顧客獲得とエリア全体の一体感を持ったイメージアップを図り、継続した賑わいを創出します。	①
公共施設利用促進バス事業	夏休み期間中の子どもたちを中心に、北区内の公共施設等の利用促進を図るため無料バスを運行します。	①
郷土芸能の伝承支援事業	北区に伝わる神楽等を地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取り組みを支援します。	②
地域子育て支援事業	子育て仲間づくりなど、地域で子育てを支える体制構築を推進し、不登校・引きこもりや児童虐待の予防に繋げるなど、児童の健全育成を推進します。	④
認知症予防(もの忘れ検診)事業	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見、適切な支援・サービスにつなげるため、北区の65歳以上の希望者に対し、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。	④
海岸林利活用推進事業	北区海岸林保全計画に基づき新たに整備する海岸林について、地元住民による保全活動を支援し、また、住民と協働しながらこれまでできなかった森林空間の利活用を推進します。	③ ④
北区賑わい創出事業	人口減少が課題となる中、北区内全体の発展、賑わいの創出を図るため、定住人口・交流人口の増加に向け、地域の魅力を区内外に広報PRするほか、新崎駅の拠点化に向けた地域住民による協議会等の活動を支援するとともに、駅連絡通路や駅周辺の活用をともに考えます。	① ④

事業名	事業内容	事業区分
キテ・ミテ・キタク魅力発信プロジェクト	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を狙います。また、より効果的な魅力発信を行えるよう、区民が北区の魅力を共有し、一体感をもって取り組める基盤を創出します。	②
大学生と地域の協働による人・地域・学校づくり支援事業	北区内の小・中学校等と新潟医療福祉大学、地域、行政が連携し、児童生徒の学習環境等のバックアップと将来を担う人材育成の支援を行うとともに、協働に関する意識の向上や人づくりを支援します。	①
(旧)北区総合スポーツ事業	さまざまな競技による総合スポーツ大会を開催し、併せて気軽にスポーツを楽しめるイベントも実施することで、区民の一体感を高め、スポーツを愛好できる機運を醸成します。	④
十二湯ブラッシュアップ支援事業	保全活動の人材育成や、絶滅危惧植物(アサザ・ガガブタ)の調査、環境教育の充実、観察施設の増設等により、湯の魅力の充実を図ります。	② ③ ④
「稼げる農業」促進事業	担い手不足や主要農産物の生産量減少という課題を解決するため、農産物の高品質化や生産量拡大を可能にする栽培技術の検討により、「稼げる農業」を促進します。また、それらを活用した加工品開発を通じ、地域経済の活性化を推進します。	①
商店街若者協働プロジェクト	北区における商業の衰退、人口減少などに伴う街の活力の低下を食い止めるため、若者が利用しやすくなる魅力ある商店街の在り方を模索し、北区の中心市街地の活性化・にぎわい創出を目指します。また、地域の若者にとって身近に感じられる魅力ある商店街とするため、若者と商店街が検討したアイデアを具体的な事業化に結び付けます。	① ④
地域再発見事業	長い間、展示が固定化されている北区郷土博物館についてリニューアルを行い、北区全体の歴史や文化の発信拠点とします。	② ③
わくわく「感」劇子ども感性はぐくみ事業	次代を担う児童の豊かな感性を磨くとともに、他校の児童と一緒に鑑賞することで、文化芸術を通じた交流を図ります。また、観賞をきっかけとして、児童自らがステージに立ってみたいという意欲に繋がる、参加型の仕組みを創り出します。	②
うるおいの水辺ねっとわーく事業	豊かな水辺が広がる北区の水辺愛護活動団体間のネットワーク化を推進します。また、愛護活動の活性化を図り、北区の水辺の魅力を区内外に向け発信します。	② ③ ④ ⑤
地域子育て応援事業	乳幼児期を中心とした子育て中の親を対象に各種講座を開催し、子育てに関する不安を解消するとともに、地域で子育て家族を支えあい、助け合って子育てができる環境や体制づくりを検討します。	④
在宅医療推進事業	医療機関・福祉関係事業所との連携を強化し、区民への啓発を進め、在宅医療実施体制の充実に努めます。	① ④
若者と連携した魅力ある商店街づくり事業	若者が求めるもの、購買しやすくなるお店創りなどについて北区に住んでいる若者(新潟医療福祉大学の学生など)と各商店街団体との意見交換等を進めることでまちの活性化に結び付けます。	④
地域防災力向上事業	新たに土砂災害に関する情報などを追加した北区あんしんガイドブックを区内全世帯に配布します。また、啓発イベントを実施することで防災意識の向上を図ります。	①
福島潟ウインターフェスタ開催事業	新潟の原風景であり「水と土」の象徴である「潟」と「人々の生活」に着眼した自然文化をコンセプトとし、市民参加型イベントを開催することで、主に冬の福島潟の魅力をPR・情報発信します。	③ ④

事業名	事業内容	事業区分
次世代人材育成事業支援	北区内の小・中学校等と新潟医療福祉大学が連携し、次代を担う児童生徒の学習環境等のバックアップと将来を担う人材育成の支援を図ります。	① ④
健幸づくり対策事業	区民の生活習慣病や要介護状態の予防を目的に、運動講習会やウォーキングイベント等を開催し、ウォーキングマップを活用した運動不足の解消と利用者同士の交流を図ることで、健康寿命の延伸に努めます。	④
緑の松林守人支援事業	北区の海岸林を守り育てるために、地元自治会、周辺企業、学校並びにNPO等で組織した「海辺の森周辺整備協議会」を中心に、保全活動を行う守人を育成します。	③ ④
またキタくなる魅力発信プロジェクト	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を狙います。	②
地域の歴史・文化発掘「未来への遺産」継承プロジェクト	南浜地区の特徴的な砂丘や海の暮らしについて調査・整理・保存し、教育・普及活動等へと結びつけ、「水と土」の歴史と共に後世へと語り継いでいきます。	②
地域から広げる「虹の架け橋」国際交流事業	地域住民とともに、日常生活や暮らしの中で在住外国人との交流を深め、地域のより一層の安心・安全を確保し、国際感覚豊かな地域としての発展を目指します。	① ②
農商工連携による特産物づくり事業	農商工が連携し、北区における栽培作物を活用した特産物を開発することにより、地域経済の活性化を推進します。	①
デスティネーションキャンペーンおもてなし事業	平成26年春の新潟デスティネーションキャンペーン(DC)の開催にあたり、北区においても、平成25年4～6月のプレDC期間のおもてなし企画の実施及び本番に向けての準備を行い、観光客のリピーター化による交流人口の拡大を狙います。	②
笑顔・すこやか健康応援事業	検診や健康に対する意識調査を実施し、病気の早期発見の意義について啓発し、健康確認や健康維持ができるよう推進します。	④
北区育ち愛ねっと事業	地域・民間・行政がネットワークを結び、子育てを応援する情報を発信します。また、子育て中の家族を地域で支え合う体制づくりを応援します。	④
北区観光誘客推進事業	北区の観光や味覚等の魅力を体験してもらうことで、口コミやメディア等を通じて、北区の知名度や印象度の向上を図ります。	②
北区桜名所づくり事業	植樹活動により、北区の豊かな自然や要所を桜名所で結び、人々の交流を深めるとともに、北区の魅力向上を図ります。	④
きらっと北区子ども達支援事業	子どもたちの健やかな成長のために、学校・地域との連携を強め、家庭の教育力、地域の教育力の向上を図ります。	④
福島潟ホテルのいる原風景復元事業	水の公園福島潟園内にホテルが見られる拠点施設を整備し、再びホテルが見られるような環境の復元を目指します。	③ ⑤
セーフティゾーン環境保全事業	セーフティゾーン内の不法投棄を未然に防ぎ、地域の環境美化に区民と協働で取り組みます。	① ④
地域の宝(三日月湖とその植生)としての環境保全・活用事業	十二潟の「アサザ」「ガガブタ」の保全事業を継続することの意義と可能性を探ります。	② ③ ④
すこやか・あんしん・ふれあい事業	地域と新潟医療福祉大学と区が連携し、区民が住みなれた北区ですこやかで安心して暮らし続けることができるようなまちづくりを進めます。	④
緑の松林元気回復事業	海岸林に関係する自治会や企業、サポーターなどと協力しながら、海岸林の保全活動を進めます。	③ ④

事業名	事業内容	事業区分
北区産業観光事業	最先端のモノづくり、伝統的な産業等の資源を活用した産業観光のプロモーションを進め、交流人口の拡大を図るとともに、次世代の人材育成につなげます。	②
北区安心安全ガイドマップ作成事業	北区の避難所施設一覧に標高を加え、津波等の水害に対応した防災ガイドマップを作成し、北区全戸に配布します。	①
福島潟田んぼアート制作支援事業	「福島潟田んぼアート」を市民参加型で実施し、北区の魅力を広くPRするとともに交流人口の増加を図ります。	④
区民創作劇上演事業	区民参加による劇制作・上演を通じて、区民が個性ある文化のまちづくりを進め、文化会館の開館記念事業として実施します。	④
北区管内4駅周辺環境美化事業	地域との協働で北区管内4駅周辺の環境美化を継続する。また、北区への来訪者に美しい北区をPRします。	⑤
北区子育て支援事業	地域で活動している子育て支援の団体や個人と行政が一緒に取り組み、地域で支えあう支援体制づくりを推進します。	④
ふれあい・交流拠点調査事業	生活応援拠点施設の有効利用と、地域の活性化を図るため、「ふれあい促進・交流事業」及び「快適駐車場事業」等について事業化の可能性の調査を行います。	①
「キテ・ミテ・キタク」イベント開催事業	北区の農水産業・商工業・観光等を広く内外にPRするイベントを開催し、地域経済の活性化と産業振興を促進します。	② ④
ござれや阿賀橋開通記念イベント開催事業	国体開催にあわせて開通する「ござれや阿賀橋」の開通記念イベントを東区と合同で開催することで、両区民に国体開催をPRし、機運の醸成を図ります。	④
自立して暮らし続けることができるまちづくり推進事業	区民が住み慣れた北区で自立して、いつまでも暮らし続けることができるようなまちづくりを進め、地域と新潟医療福祉大学と区が連携し、障がい者などへの理解を深める取組を実施します。	④
北区の地域文化再発見事業	北区の自然風景、歴史、文化、身近な文化財を区民と協働で再発見し、地域の理解、認識の向上を図り、地域文化資源の継承とその発信に取り組みます。	② ④
豊かな自然(水辺)の保全と活用事業	豊かな自然環境や貴重な水辺空間を保全・活用することで区民と自然が共生し、憩いのある空間づくりを行います。	② ③ ⑤
国際化の進展に対応した安全な地域づくり事業	新潟東港周辺地区が、新潟市防犯モデル地域に指定され、新潟東港セーフティネットワークを中心に、防犯等の課題への取り組みを実施します。	① ④
阿賀野川ござれや花火補助金交付事業	伝統ある行事を盛大かつ円滑に遂行し、市民の誇りと神話を育むとともに、安全に運営するための補助を交付します。	②

北区 予算の概要	「自然・活力・安らぎにあふれるまち-住みたくなるまち 北区-」の実現に向け、魅力ある農業の確立や地域商業の活性化に取り組むとともに、子育て支援、介護予防や認知症予防など福祉の充実を図ります。また、北区の自然、伝統文化やスポーツ活動などの特長を活かし、北区の魅力を高める、地域との協働の取り組みを推進します。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	豊かな自然と共生するまち	
	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり 【新規】(2,300千円)	飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくりのため、官民協働での植栽等を行います。
	北区水辺環境の魅力発信 (2,000千円)	北区にある自然豊かな水辺の環境を保全するための仕組みを構築し、水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力を発信します。
	地域協働で創る海辺の森 (3,900千円)	地元主体で行われる森林保全活動を支援するとともに、地域住民、大学、企業など、多様な連携によって行われる環境整備やコミュニティビジネスをサポートします。
	活力ある産業のまち	
	次世代農業の普及 【新規】(1,500千円)	農産物のブランド化などを通じた「稼げる農業」の仕組みづくりに、農作業の省力化を可能とするICT技術のモデル実施など「次世代農業」への取り組みを支援します。
	地域商業にぎわい創出プロジェクト 【拡充】(2,600千円)	地域商業活性化、賑わい創出のテーマをもとに、テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出します。また、コロナ禍での新たな活性化事業に取り組みます。
	魅力発信キタクなるプロジェクト (3,000千円)	新型コロナウイルス収束後の交流人口拡大を目指し、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を図ります。
	学びあい、健康で、人にやさしいまち	
	北区エンジョイスports事業 【新規】(1,500千円)	ウィズコロナの状況下でも区民が安心して参加できるスポーツ大会や体験会などを開催するほか、身近な場所での運動の普及を図ります。また、自然に親しみながら歩く、北区元旦歩こう会を開催します。
	木崎村小作争議100周年 (1,500千円)	農民運動として全国的に有名な「木崎村小作争議」について、100周年を迎える令和4年度に予定する郷土博物館での企画展の開催などに向け、地主側などの資料所在調査や、指定文化財の修復に取り組みます。
	北区子育ての応援 【拡充】(3,500千円)	市民向け・支援者向けの子育て支援講座や、親子で楽しめる子育てイベントの開催、北区子育て情報のLINE配信により、子育てを応援します。
	北区もの忘れ検診 (800千円)	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスに繋げるため、北区の65歳以上の希望者に対して、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。
	大学生による家庭介護セミナー (300千円)	高齢化や核家族化が進み、高齢者同士による介護が増加していることを受け、新潟医療福祉大学の学生を講師としたセミナーを開催することで介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようにします。
	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援 (1,600千円)	新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校などへ、ひとづくり・まちづくりを連携・協働するタッグパートナーを派遣します。
安心安全で暮らしやすいまち		
地域防犯力向上 【新規】(500千円)	地域で活動する自主防犯団体による意見交換会などを開催し、活動ノウハウや危険箇所などの情報共有により、活動の強化、防犯力向上を図ります。また劣化した不法投棄防止看板を改修することで治安維持を図ります。	
地域防災ひとづくり (1,200千円)	防災士が地域で活躍するために必要な知識や技術のスキルアップ講習会や実習訓練を実施し、防災訓練の指導手引書を作成します。また、防災士による河川別洪水ハザードマップを作成します。	
主な事業	葛塚コミュニティセンター 移転改修 (414,600千円)	区役所の移転に伴い、旧区役所新館を葛塚コミュニティセンターと豊栄地区公民館の一部機能との複合施設として改修し、移転整備します。また、老朽化した旧区役所本館を解体します。

東区 予算の概要	人口減少、少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進し心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力の創出や活用に取り組むことで、人もまちも元気で笑顔があふれる東区を目指します。
---------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	心地よく暮らしやすいまち	
	地域の防災力向上 【拡充】(3,200千円)	「防災出前講座」の開催により、自然災害への備えや、避難の際の感染症対策を学んでもらうことで、地域防災力の向上を図ります。また、地域と小学生による「地域安全マップづくり」を支援し、子どもの防犯力向上を図るほか、防災・防犯・交通安全の各分野においてパネル展示による啓発を行います。
	避難所運営ワークショップ (1,400千円)	地域防災力向上のため、避難所運営のマニュアル整備が完了している避難所を対象としたシミュレーションを行い、今後の訓練に取り入れるなど、災害時における円滑な避難所運営の確立を目指します。
	ウェブでつながる マタニティ期からの子育て応援 【新規】(4,200千円)	妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感の解消を図ります。講座や相談会は集合形式に加えて、新しい生活様式に対応したウェブによるリモート開催を行うとともに、CAPワークショップ等で子どもの虐待防止強化を図ります。
	地域と取り組む！ 高齢者見守り訪問・介護予防 【新規】(2,500千円)	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、感染症対策を講じた見守り訪問を実施して生活の様子を確認し、状況に応じて必要なサービスへの誘導を図るとともに、高齢者全体の支援として、健康づくり・介護予防のため、小集団による教室を地域とともに実施します。
	みんなで見守ろう認知症！ おれんじネット(800千円)	認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、感染症対策に留意しながら、認知症研修会、SOS検索模擬訓練等を実施し、認知症に対する理解を深め、地域で見守るネットワークづくりを推進します。
	歯っぴーすまいる プロジェクト(1,900千円)	子どものむし歯の改善に向け、こども食堂・放課後児童クラブ・保育園・幼稚園等と連携した歯と食育の健康づくりを行います。また、年間を通じた歯磨きの習慣化に取り組みます。
	美しい東区環境づくり (1,100千円)	区内一斉清掃や地域のボランティア清掃を通じて、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取り組みを進め、「クリーン東区」のイメージ定着を図ります。
	魅力あふれるまち	
	産業のまち東区 魅力発信プロジェクト 【新規】(1,000千円)	東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰でも楽しめるように、公式インスタグラムを活用した継続的な情報発信に取り組みます。
東区プラザ開館10周年記念 東区歴史文化プロジェクト 【新規】(1,500千円)	東区プラザ開館10周年を記念し、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、東区の歴史の普及啓発活動に取り組みます。	
じゅんさい池みらいプロジェクト (3,500千円)	貴重な緑地環境を有し、観光資源でもある砂丘湖のじゅんさい池を未来につなぐため、自然環境を活かした憩いの空間づくりに努めます。また、地域住民や有識者の意見を踏まえ、環境保全や活用方法を検討し「(仮)じゅんさい池みらいプラン」を策定するとともに、更なる魅力発信に取り組みます。	

中央区 予算の概要	「歴史と文化の薫りただよう、うるおいとにぎわいのまち」を目指し、中央区の魅力を活かした、まちなかの活性化を推進する取り組みや、子育て・高齢者・防災などに関する取り組みを地域と連携・協働しながら行います。
--------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	安心してすこやかに暮らせるまち	
	しもまち地域の活性化 (1,700千円)	「はじめてしもまちプロジェクト」としてこれまで発掘してきた「しもまち地域」の知られざる魅力を、若い世代がより魅力を感じられるよう編集・発信することで、人の交流・流入の定着を図ります。
	レッツトライ！ 糖尿病予防の推進 (1,628千円)	区の健康課題である糖尿病を改善するため、コミ協や地域の茶の間など地域団体向けに糖尿病の正しい知識や予防方法などの講座を開催します。また、ホームページでの動画配信など情報発信を強化します。
	みんなであつながる にっこにこ子育ての応援 (5,230千円)	妊娠期から子育て期まで、保健師・助産師等の専門職による切れ目のない支援を関係機関と連携、協働して行います。また、新たにオンラインによる妊婦個別相談を実施します。
	赤ちゃん誕生お祝い会の支援 (520千円)	赤ちゃん誕生を機に、子育て中のママ・パパ同士だけでなく、地域住民との交流を深め、地域全体での子育て支援や多世代交流を図るため、「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催を支援します。
	話そう・つなごう・あなたの想い 終活きっかけ作り (1,102千円)	独居や身寄りのない高齢者をはじめ、誰もが人生の最終段階における医療やケアについて、元気な時から考え、家族や知人と話し合い、思いを共有しておくことの大切さを関係機関と連携して周知します。
	防災人材育成・地域づくりへの支援 (4,800千円)	災害に強いまちづくりを促進するため、避難所運営にかかる講習会等を開催するほか、防災資機材や保管庫の整備に対する助成を行います。また、避難行動要支援者を地域で助け合う体制づくりを進めるとともに、地域による津波自主避難マップ作成を支援し、防災意識の醸成を図ります。
	犯罪のない地域づくり (740千円)	特殊詐欺への注意を喚起するため、警察署等と連携した街頭啓発活動や、被害の多い高齢者宅への協力事業者による訪問啓発を実施し、被害防止を呼びかけます。
	水と緑が調和したやすらぎのあるまち	
	鳥屋野湯の環境啓発 「とやの物語」 (3,300千円)	鳥屋野湯の認知度と環境意識を高め、広く市民等の取り組みを促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進するため、出前講座や映像教材作成等の環境啓発事業を行います。
区民協働森づくりの推進 (5,560千円)	防風対策を図るため、新潟島の海岸林の必要性・重要性を周知するほか、海浜植物園周辺に、松くい虫に抵抗性のあるクロマツの植樹と成育した松の密度管理（除伐）を行います。	
未来につなぐ歴史・文化のまち		
地域のお宝！再発見 (1,920千円)	中央区の地域資源に対し、市民（特に区民）が関心を高め、誇りや愛着を持てるよう、新潟シティガイドによる解説付きまち歩き（えんでこ）の実施や、SNSなどを活用した区民自らが地域の魅力を発信する企画を行います。	
みなとまち新潟 伝統的産業PR (3,300千円)	中央区の伝統的産品である「新潟漆器」や「発酵食」、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」の魅力を再発見してもらい、次世代への普及を促進するとともに、これらの産業の振興を図ります。	
主な事業	松くい虫の防除 (35,600千円)	松くい虫による松枯れ被害を収束させるため、被害木の伐倒駆除及び植栽などを行います。
	山湯地域コミュニティ施設の整備 【新規】 (500千円)	本市設置のコミュニティ施設がない山湯中学校区内に、新たに同施設の整備を行うため、基本構想を策定します。

江南区 予算の概要	都市的なたたずまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の安心安全で健康な生活を守ることで「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を目指します。
----------------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要	
特色ある区づくり予算	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち		
	江南区未来づくりプロジェクト (900千円)	豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網など、区の強みを最大限活用するための方策について、「雇用創出」「居住促進」「交通環境」などの視点や、江南区まちづくり協議会からの提言を踏まえ、今後のまちづくりの方向性をあらかじめ整理し、検討・実践することで、都市機能の充実を図ります。	
	みんなで語り、考える 使いやすい公共交通 (700千円)	区バス・住民バスなど、それぞれの運行主体がさらなる連携を図ることで、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげます。	
	(仮称)小阿賀野川フィッシング大会 (200千円)	小阿賀野川などの水辺空間を活用するため、地元との協働によるフィッシング大会を開催し、区の新たな魅力の創出と交流人口の増加につなげます。	
	いい汗 いい食 江南健幸ライド (1,500千円)	小阿賀野川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用促進に取り組むため、区の名所を自転車で周遊し、協賛企業が提供する地元の食などが楽しめるサイクリングイベントを開催することで、健康づくりの推進や交流人口の拡大を図ります。	
	人と人のつながりを大切に作る安心安全なまち		
	江南区安心・安全な地域づくりの推進 (2,700千円)	「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成や防災・防犯・交通安全の分野における地域力の強化を図ることで、安心安全な地域づくりを推進します。	
	地域で見守り応援事業 ～見守る目、見守る心～ 【拡充】(990千円)	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	
	江南区ふれあい・ささえあい プランの推進 【拡充】(3,490千円)	各種団体と協働して、交流事業や福祉大会の開催により多世代交流を図るとともに、区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指します。	
	創造的な産業を育む活力のあるまち		
	「農」に親しむ 【拡充】(2,470千円)	市街地周辺に農地が近接し、豊かな農産物を身近に感じることができる江南区の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図ります。	
	地域ブランド「亀田縞」の 販路拡大 (2,000千円)	これまでブランド力の強化に取り組んできた「亀田縞」を、改めて日常的に目にする機会を創り出し、地域での内需拡大と多様な用途に向けた検討を進めることで、地元での更なる浸透を図ります。	
	「江南区をPR」魅力発信 プロジェクト 【新規】(1,200千円)	新型コロナウイルスの影響により地方への回帰傾向が高まる中で、区民だけでなく、首都圏などの学生や子育て世代に江南区の住みやすさや魅力を発信することで、江南区への移住促進を図ります。	
	江南区ぐるっと巡って発見・体験 ツアー (1,400千円)	固有の文化や伝統を有する江南区において、観光資源を発掘、深掘りし、その魅力を発信・提案することで、関係人口の拡大を図ります。	
	地域商業活性化支援 【拡充】(2,500千円)	地域の多様な団体とともに、拠点商業地である亀田本町商店街周辺の地域商業活性化の取り組みを支援し、賑わいの創出を図ります。また、商工団体等と連携し、区全体の商業活性化に向けた取り組みを行います。	
	未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち		
	北方文化博物館を活用した 文化発信 【新規】(1,700千円)	国登録有形文化財である県下最大級の豪農の館「北方文化博物館」を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供することで、江南区に対する愛着の向上を図ります。	
	文化芸術の創造・発信 (2,250千円)	区の文化芸術の発信拠点である江南区文化会館において、質の高い文化芸術作品を区民に提供し、文化の創造と振興を図ります。	
	主な事業	曾野木地区市営住宅跡地等施設の整備 (217,000千円)	江南区曾野木地区市営住宅跡地において、地域住民のさらなる活動の充実を目的に、民間活力を最大限活用し、コミュニティ拠点施設及び近隣保育園2園の統合を軸とする施設整備を進めます。

秋葉区 予算の概要	「里山・歴史・食・花・川・鉄道」といった区の魅力にさらに磨きをかけ、交流人口の拡大や、移住・定住のための仕組み作りを行います。また障がい者や高齢者の支援、子育てサポートの充実により「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を目指します。
--------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	うるおいとやすらぎのあるまち	
	優歩道歩いてみ隊 (2,500千円)	自然散策や健康づくりに利用され、多くの区民から親しまれている新津川や能代川沿い及び秋葉公園などの遊歩道をより使いやすくし魅力向上を図るとともに、区民協働による環境保全に取り組みます。
	楽しく元気なまちなかやさしさのあるまち	
	アキハで認知症サポートネット (650千円)	区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめて、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指します。
	「つながる」「つなげる」 障がい者支援 (690千円)	障がい者への適切な支援に必要な情報を共有する仕組みづくりと保護者支援を推進します。また、授産製品の周知・販売に関する支援を行い、障がい者への理解促進を図ります。
	地域ぐるみでフレイル予防 (900千円)	心身の加齢変化が大きくなる高齢期に、フレイル（適切な対応をすれば回復可能な虚弱な状態）を予防し、健康寿命延伸を図るため、身近な地域で住民が支え合いながら予防活動を継続できるよう支援します。
	アキハで子育てサポート (4,550千円)	育児に関する様々な事業を実施することにより、子育ての不安感や孤立感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートします。
	歴史と個性を活かすまち	
	秋葉「鉄道物語」 【新規】(3,370千円)	新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源（宝）を、商店街、地域住民、子どもたちとともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図ります。
	文化遺産の情報発信 【拡充】(1,000千円)	秋葉区の歴史や文化遺産に対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信します。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用します。
	アキハの宝子ども探検ツアー (350千円)	緑豊かな里山や歴史ある文化遺産など秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成します。
	アキハスンプロジェクト Vol.2 (2,700千円)	地域主体によるまちづくり推進のため、里山をはじめとした秋葉区の特色・魅力のブランド化及び発信によるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住の仕組みづくりに取り組みます。
	花のまち・食のまち・育てるまち	
	花が迎えるまちづくり (1,500千円)	R403号フラワーロードを美しい季節の花・宿根草等で彩り、緑を大切にすることを育むとともに、「花のまち」秋葉区を区内外に広くアピールします。
	アキハ花一番PR (3,670千円)	秋葉区から北海道や広島など遠方市場に出荷される、鉢花の安定流通に向けた輸送支援社会実験を行い、全国に出荷される鉢花全体価格の底上げにつなげます。また、秋葉区産鉢花の展示PRを行います。
	稲架木で地域農業活性化の推進 (700千円)	満願寺稲架木並木を活用した昔ながらの米づくりを体験する機会を設け、農業や食への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って農業者を応援したくなるきっかけを作り、地域農業の活性化を図ります。
	生み出し活かすまち	
	アキハもち麦推進 【拡充】(1,350千円)	機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行います。
	社会起業家発掘・養成 (500千円)	新型コロナウイルス感染拡大により社会変化が生じる中、秋葉区から世界に通用する人材を育成するため、区内の子供たちを対象に経済団体や大学などと連携し「プログラミング講座」を実施します。

南区 予算の概要	「大地の恵みと伝統・文化にはくくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち」を目指し、南区の魅力の向上と発信に取り組みます。また、区民や地域団体との協働や学校との連携により、賑わいの創出を図るとともに、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	
	南区未来創生事業 【新規】(1,700千円)	にいがた南区創生会議発案の「未来ビジョン」を具体化するため、区外の観光資源と組み合わせた観光プランや交通体系の構築を進めます。
	ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	
	地域と取り組む防災 (2,000千円)	災害時に自助・共助による安心安全なまちづくりを進めるため、地域防災の担い手育成の一環として、中学生・高校生防災教室を行うとともに、南区防災セミナー等の開催により、地域住民への防災啓発を行います。
	健康づくりの推進 (2,100千円)	健康寿命の延伸をめざし、特定健診受診率向上と継続受診の定着を図るほか、生活習慣病予防についての講座や幼児を対象とした食育講座を実施し、区民の健康づくりを推進します。また、在宅医療をテーマとした講演会を実施し、在宅医療推進の環境づくりを進めます。
	みんなで子育てネットワーク (1,600千円)	子育て中の保護者の孤立解消や負担感を軽減し、安心して子育てできるよう、地域住民からなる子育て支援リーダーとともに、子育て広場の開設や親子で参加できる交流会の開催、子育て支援プログラムを実施し、子育て支援を行います。
	白根高校とのまちづくり連携 (700千円)	区内唯一の高等学校である県立白根高校との連携を深め、地域とのネットワークづくりを推進するとともに、まちづくりに資する人材育成を図ります。
	未来創造教室 (3,200千円)	南区の小中学校の実情に合った地域学習を推進し、将来自分の地域とのかかわりを見つめ直す学びの場を提供することで、郷土を愛する心とこれからの社会を生き抜く力を育成し、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりに貢献します。
	農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	
	果樹 新規担い手等の支援 【新規】(3,000千円)	農家数・樹園地面積ともに減少が続いている南区の果樹農家の現状に対応するため、新たに果樹担い手を目指す方へ支援を行います。また、果樹農業の魅力向上を図るため、果樹のPRを強化します。
	大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	
	新型コロナウイルス退散祈願！ 白根大風合戦 【新規】(2,200千円)	新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度は中止となった白根大風合戦の2年ぶりの開催を、復活大風やリアルタイムの映像配信などにより盛り上げます。
	南区おもてなし力 向上プロジェクト (2,000千円)	区内のまち歩きボランティアガイドの養成支援を行い、スマホで視聴できるまち歩きスポットの紹介映像を制作します。また、地元高校生や観光協会等と連携して観光コンテンツを磨きあげ、おもてなし力の向上を図ります。
	未来につなぐ文化プロジェクト 【新規】(3,500千円)	地元コミ協と連携したイベント等を実施し、旧笹川家住宅の魅力をもPRします。また、大風を擬人化したキャラクターである「風っこ13人衆」のイラストを活用し、南区のイメージアップを図ります。角兵衛獅子の担い手育成のため映像を作成し、伝統文化を未来へとつなげます。
	主な事業	地域おこし協力隊を活用した地域の活性化 (4,420千円)

西区 予算の概要	豊かな自然環境、高度な学術機関が多くある西区の特性を活かし、地域との協働を軸に、大学とも連携し、健康寿命の延伸をはじめ、高齢者・子育て支援や防災、西区特産農産物のPRや環境の保全などに取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
---------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	人と人がつながり、安心安全に暮らせるまち	
	西区健活チャレンジ (895千円)	健康寿命の延伸や、新型コロナウイルス対策としての「新しい生活様式」の定着に向けて、地域の身近なところで区民の健康づくりを支援するとともに、地域健康応援隊の育成により、日常生活の中での健康に関する情報の発信充実と意識の向上を図ります。
	支え合いのまちづくり支援 (3,340千円)	支え合いに関する研修会を開催するほか、コロナ禍におけるつながりづくりのためのモデル事業を実施します。また、一人暮らしの後期高齢者を訪問し必要な支援につなげます。加えて小中学生認知症サポーター養成講座の開催や、農福連携による障がい者自立支援・就労支援を行い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを進めます。
	西区の子育て応援 (4,000千円)	子育てを支援する各種プログラムを実施するほか、子育て情報をSNS(LINE)により配信し、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりを支援するとともに、虐待の未然予防を図ります。加えて、子育て支援関係者の交流を通じ、ネットワークの充実を図ります。
	西区安心安全な地域づくり推進 (4,800千円)	地域防災力強化のため、避難マップ作成や避難所の運営などの地域の自主的な取り組みを支援します。また、中学1年生を対象とした自転車安全運転講習会や高齢者を対象とした安全運転指導により、交通安全を進めるほか、防犯の啓発にも取り組みます。
	西区NEWスタイルウォーキング【新規】 (4,015千円)	コロナ禍においても安心して健康づくりが進められるよう、ウォーキングの基本や注意点をまとめたDVDを作成し、個人で気軽に学べる機会をつくるとともに、区内の遊歩道に距離標を設置し、実践の環境整備と意欲向上を図ります。また、区民がウォーキングの楽しさを実感でき、習慣化につながるようウォーキングイベントを開催します。
	都市と農村が融合するまち	
	西区特産農産物 魅力発信・ブランディング (3,600千円)	西区の特産農産物の魅力をマスメディアやSNSなどを活用して県内外に発信し、ブランド化を進めるとともに、販路と消費の拡大を推進します。また、農商工連携により、国のGI登録産品の「くろさき茶豆」や、食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の高付加価値化に取り組みます。
	「食×農」体験プログラム実施 (1,900千円)	区内の小中学校と連携し、児童が地場農産物や農業を学び体験する機会を提供することで、子どもたちへの食育と地場農産物の消費拡大を推進します。また、農を学ぶ場として農業体験教室、農家との交流の場として収穫ラウンドを開催し、農への理解を深めます。
	だれもが学び合える学術と文化のまち	
	西区スポーツマイル プロジェクト (900千円)	区民の継続したスポーツ・運動の習慣化に向けたきっかけづくりを提供するとともに、多くの人からスポーツ・運動の楽しさや喜びを感じてもらい、夢や希望を育む支援に繋げるほか、区民の交流機会を創出し、笑顔に満ち溢れた西区を目指します。
	豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち	
	きれいなまちづくりサポート (1,350千円)	ごみのない、きれいなまちづくりを推進するため、地域と連携して西区の環境美化活動に取り組みます。また、子どもたちの環境保全への関心と意識を育みます。
	西区「農地と保安林」 機能維持・向上 (300千円)	西区で課題となっている耕作放棄地が発生しないよう、耕作放棄地未然防止対策に取り組みます。また、海岸保安林の環境整備を図るとともに、保安林整備ボランティア団体の継続的な活動や団体の育成・強化に向けた支援を行います。
	西区を堪能 まち歩き・観光ツアー (1,500千円)	区内に点在する魅力ある自然景観や史跡に加え、地域の歴史や文化を取り入れた観光コースを企画造成し、身近な地域でのまち歩きや観光ツアーなどの「マイクロツーリズム」により、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ります。
	地域と区役所が共に歩むまち	
	出勤！西区地域盛り上げ隊 (中学生みらいデザイン編) (500千円)	次代を担う子どもたちが、地域をより良く知り、関心を高めることを目的に、地域の課題解決の方法を、地域の方と共に考えるワークショップを開催します。また、家族等と話し合う機会を設け、幅広い世代の区民から地域に目を向けてもらう契機とします。
	西区のくらし・魅力発信 (1,400千円)	若者の就職を契機とした県外転出を抑制するために、区内大学と連携し「西区の住みやすさ」を大学生に発信します。また、西区かがやき大使が区の魅力を発信することで、区民の一体感を醸成します。

西蒲区 予算の概要	西蒲区の魅力である「食・農業」と「観光」を活用し区内外に発信するとともに、健康寿命の延伸や子育て支援、地域防災力の向上に努め、交流人口の拡大と地域の活性化を図り、人と人があたたかにつながるまちづくりを進めます。
----------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要	
特色ある区づくり予算	魅力あふれる農水産物を供給するまち		
	「にしかん なないろ野菜」ブランド強化・販売拡大【新規】(2,000千円)	新たな産地づくりプロジェクトにおいてブランド化及び産地確立を進めてきた「にしかん なないろ野菜」を西蒲区はもとより、他区や周辺市町村などの飲食店等へも販路拡大し、産地としての地盤を強固なものとするため取り組みます。	
	にしかん未来につながる持続可能な農業の推進【新規】(510千円)	西蒲区農業振興協議会内に「にしかん未来につながる持続可能な農業推進部会」を立ち上げ、地域のGAP認証取得者の農業活動改善に向けた様々な経験や幅広い知見などを情報共有し、未来につながる持続可能な農業の生産体制づくりの強化に取り組みます。	
	産地を守る農業生産被害防止対策【新規】(1,700千円)	近年発生している野生動物による農産物被害などに対応するため、専門業者による集落環境診断や勉強会を行い具体的な対策を実施することで、農作物の被害防止や農業従事者の安全性の確保に取り組みます。	
	観光とレクリエーションのまち		
	にしかん観光誘客促進(4,950千円)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、著しく落ち込んだ観光需要を取り戻すため、感染症収束後を見据えた県外・海外からの誘客促進を図ることにより、「観光地西蒲区」の再興を目指します。	
	西蒲映画の活用(2,800千円)	区の観光資源、農産物、食文化、人情などの魅力を題材として制作した西蒲映画3部作を、インターネットや各地のイベント、映画館等で上映し、西蒲区の魅力を広く伝え、交流人口の拡大や移住者の増加につなげます。	
	マイクロツーリズム誘客キャンペーン【新規】(1,520千円)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「マイクロツーリズム」を観光誘客の主要な取り組みの一つと位置付け、県内及び隣県において西蒲区の観光地の知名度を向上させ、近県からの誘客促進を図ります。	
	「矢垂の郷」賑わいづくりプロジェクト【新規】(1,000千円)	新たな観光誘客スポットとして整備している「矢垂の郷」の継続的な維持や、知名度向上による交流促進を目指したイベント開催に向け、地域ボランティア組織の育成を図ります。	
	にしかん健康プロジェクト(2,500千円)	健康寿命の延伸に向け、子どもからお年寄りまで健康意識を向上させるため「栄養」「体操」「お口の健康」の大切さを地域に普及する活動やウォーキングの習慣化に取り組みます。	
	にしかんスポーツサポート(680千円)	スポーツを通じた健康づくり、スポーツ活動の活性化を図るため、ランニング教室を開催するなど、スポーツに親しむ機会の提供と支援を行います。	
	人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち		
	にしかん地域防災共育(2,300千円)	「減災」の考え方を基本とし、「地域と共に育む自助・共助」をテーマに、市内で最も高齢化が進んでいる西蒲区の課題を見据えた地域防災教育の推進と、継続的かつ効果的な地域の防災活動への支援を行います。	
	にしかん未来デザインプロジェクト【新規】(500千円)	人口減少社会に対応し、区の課題解決を加速させるための効果的なアクションプランの実施に向け、関係人口に関する市場調査やワークショップなどを行うとともに、未来に向けたまちづくりを担うキーマンの発掘とネットワークづくりに取り組みます。	
	西蒲区こども環境プロジェクト(850千円)	西蒲区の豊かな自然環境を未来の子どもたちに残すため、子どもたちを対象に、環境とリサイクルへの関心・意識を育む取り組みを行います。	
	ふれあい、支えあう子育て支援(2,000千円)	子育てへの不安や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み育て、子育てを楽しむことができる環境づくりを進めるほか、乳幼児とのふれあいを通じて心を育み、子どもの健やかな育ちを支援します。	
	地域いきいきながいきサポート【新規】(2,690千円)	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の茶の間、医療機関、地域包括支援センター等と連携し、認知症予防事業などを展開し、地域包括ケアシステムを構築します。	
	主な事業	にしかん観光周遊バス試験運行(3,000千円)	区内の観光施設と隣接する弥彦村との周遊性を向上するため、角田山麓・岩室温泉・彌彦神社などの魅力あふれる観光資源を巡る周遊バスを運行します。

令和3年度 区自治協議会 提案事業（概要）

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取組みのもとに事業化します。

※ 現時点でのものであり、今後変更となる場合があります。

区	事業名	事業概要
北区	めざせ防災力向上！ (900千円)	災害に備え、防災に関する基礎知識やコロナ禍における手法を学ぶ講座などを企画し実施します。また、幅広い世代に関心を持ってもらえるような工夫を施し、地域全体の防災意識の向上を図ります。
	「あったか言葉」っていいね (900千円)	家族へ、友達へ、恋人へ、地域の人へ、など様々な対象に対する思いやりのある言葉「あったか言葉」を幅広い世代に募集します。また、その言葉を様々な方法で発信・啓発していくことで、区内に広げ、思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりに繋がります。
	北区 自然の魅力発信 (1,000千円)	潟や桜など地域の自然の魅力を発信します。潟については、福島潟の魅力PR動画を制作するほか、十二潟、内沼潟、ひょうたん池の魅力発信などにも取り組みます。また、桜をはじめとした北区の自然を見つめ直し、パンフレットや写真入りカレンダーの製作などを通して、それらの魅力を区内外へ広く発信します。
東区	地域課題の解決に向けた調査研究 (2,400千円)	区民と協働し、東区の地域課題の解決やまちの活性化に取り組みます。3つある専門部会で、以下の担当分野を中心として、次年度の事業実施を見据え、必要な調査研究等を行います。 ① 市民協働・防犯・防災 ② 福祉・教育・文化 ③ 公共交通・産業・観光
中央区	身近な課題から広げる 協働のまちづくり 調査・研究 (1,500千円)	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取り組みを提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。4月からの次期自治協委員で構成する4つの専門部会ごとに、身近な課題を洗い出し、取り組むテーマを決め、課題解決に向けた調査・研究などを行います。
江南区	江南区モビリティプロジェクト (1,000千円)	区内公共交通の現状や様々な移動手段について調査・研究を行うことで、地域に則した交通体系の検討を支援します。
	多世代交流“みらい”プロジェクト (1,000千円)	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。
	誰でも安心して安全に暮らせる まちづくりプロジェクト (1,000千円)	江南区に住む子どもから高齢者まで、すべての人々が安心して暮らせるように、防犯、防災、交通安全、福祉などを重点に地域での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。
	地域課題解決サポートプロジェクト (2,000千円)	人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援します。

秋葉区	きらめきサポートプロジェクト (1,230千円)	「きらめく」秋葉区に向けて、区自治協議会が地域の課題解決につながる事業を広く募集し協働することで、地域の人財を発掘し、取り組みが進化するようサポートを行います。
	秋葉区区民幸福度調査 (800千円)	秋葉区在住者（中学生以上）を対象に幸福度に関するアンケート調査を実施し、幸せを感じられるまちづくりのための課題を明確化するとともに秋葉区に住む幸せを数値化して内外に発信します。
	公共交通利用促進 (300千円)	区内の公共交通情報を発信し、利用促進を図るため、区バス・住民バス及び区内を運行する路線バスのルート・ダイヤや、新津駅を発着する電車の時刻表等を掲載したガイドを作成・発行します。
	アキハおとな大学 (612千円)	秋葉区の様々な魅力を区民に再認識し学んでもらうことで、秋葉区への愛着形成と主体的に活動する人財の育成を行うとともに情報発信を行います。
	ひな・お宝めぐり (800千円)	秋葉区の新春行事として区民協働により吊るし雛飾りの制作や展示を行い、区内はもとより区外からの人の流れを生み出し活性化に繋げていきます。
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (828千円)	区自治協議会の認知度向上及び区の魅力発信のため、秋葉区ならではのコミュニティFMを活用し、委員自ら番組やCMの制作に関わり広報活動を行います。
南区	南区公共交通のPR 南区防災の啓発 (1,250千円)	南区の公共交通の利用啓発を図り、利用者数の増加につなげるため、情報紙などの作成や区バス・乗合タクシーの利用のきっかけづくりとなる取り組みを行います。また、安心・安全で住みよいまちづくりにつなげるため、防災に係る啓発活動等を行います。
	南区「家族ふれ愛月間」 南区出会いの場づくり (1,250千円)	家族の繋がりを大切に、温かい家庭を育むことを目的とした「家族ふれ愛月間」のさらなる定着及び拡充を図るため、講演会や絵画・川柳展を開催します。また、少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住の促進を目的として、独身の男女を対象に出会いの場づくりイベントを開催します。
	南区の魅力発信 南区スポーツ交流 (1,000千円)	重要文化財旧笹川家住宅などの文化資源の掘り起しにより、南区の魅力を区内外に発信します。また、区民のさらなる交流を目的としたスポーツイベントを開催します。
	南区まちづくり活動のサポート (2,500千円)	区内のコミュニティ協議会など地域活動団体から、地域の課題解決につながる事業を広く募集し、区自治協議会が選定して実施します。
西区	地域課題解決に向けた提案募集 (1,000千円)	「きれいに住みやすいまちを目指し、環境美化に取り組む」「区の魅力発信・賑わい創出」の2つの地域課題の解決に繋がる提案を地域活動団体等から募集し、協働して実施します。
	支え合いの大切さを広める標語等活用 (500千円)	支え合いの大切さを広めるため、昨年度募集した標語等を活用し広く周知を進めることで、普段から支え合える地域を目指します。
	地域の担い手育成 (300千円)	グループワーク等により、地域の担い手不足解消等につながるアイデアを出し合い、その内容をもとに地域の担い手育成へ向けた取り組みを行います。
	西区アートフェスティバル (1,700千円)	「音楽・芸能」などに取り組んでいる区内団体等の発表の場として「西区アートフェスティバル」を開催します。学術・文化豊かな西区の魅力を発信し、地域の宝を共有します。
西蒲区	住みよい・豊かな・活力あるまちづくりプロジェクト (1,000千円)	総務部会が所管する分野（防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人があたたかくつながるまち」を目指します。
	あたたかな人の和でつながる輪 (1,000千円)	保健福祉部会が所管する分野（保健、福祉、生活環境など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。
	西蒲区お宝発信 (1,000千円)	まちづくり・産業部会が所管する分野（まちづくり、農業、商工業、観光など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「魅力あふれる農水産物を配給するまち」及び「観光とレクリエーションのまち」を目指します。

令和3年度特色ある区づくり予算事業（委員提案一覧）

「市民力、地域力を活かした自治協議会と市との協働事業」であるという本来の趣旨と、1年間の短期間で取り組むため、「委員が積極的に関われる事業を、各部会で一事業」として検討し決定しました。

太枠で囲んだものが決定事業です。現在各部会で内容を協議しています。

	提案事業名	提案事業概要	担当部会 (案)
1	松浜海岸緑化事業	松浜海岸を緑化することで、地域住民のいきのいの場の確保や、飛砂対策を目的として、アキグミなどの苗木の植栽事業を『松浜地区の住民』や『松浜小』、『新潟市』との協働により行う。また、場所によっては、飛砂防止ネット設置する。	地域づくり
2	北区みんなで見守り隊	北区の住民、企業などに「北区みんなで見守り隊」の登録を募り腕章やステッカーを配布し、見守り活動に取り組んでもらう。年に1回、報告会を開催し、北区内の多様な主体が、互いの活動内容を共有する機会を持つ。	地域づくり
3	「助け合い」っていいね	子どもから大人まで誰もが「助け合い」を考え、「助け合い」の気持ちを広めるため、自治協議会部会でイメージテーマを決め、ポスター、標語、川柳を募集し、カレンダーにして区内へ全戸配布する。	福祉教育
4	めざせ☆防災力向上!	新しい生活様式に則った「防災出前講座」を開催し、地域の特性や基礎知識を学ぶ。子どもの参加が増えるよう校区ごとに実施。また、パパママ世代も参加しやすいような工夫を施し(乳幼児のいる家庭向けの防災グッズの紹介等)、多世代の繋がりや地域の結びつきを深める。	地域づくり
5	ハザードマップ勉強会	自治会や町内会単位で、防災士を講師として実施。地域の現状を勉強し、災害時に生かせるようにする。また、高齢者や障がい者などの災害弱者への対応の仕方も学ぶことで、団結して、災害に対応できる組織を作ることができる。	地域づくり
6	リモートオフィスとしての地区公民館等の活用	新型コロナウイルス感染症対策として、リモートオフィスの活用が叫ばれているが、自宅で行うには、環境整備が難しい。廃校した小学校や、地区公民館に通信設備(WiFi、電源など)を整え、公民館の利用料程度の料金で利用できるようにする。	地域づくり
7	北区をてくてく歩き再発見	外出機会やお茶の間開催が減少していることを解消するため、私たちが住んでいる北区の地形や歴史、文化、自然などを地域の方に案内してもらいながら、少人数のグループに分かれ歩く。	福祉教育

8	みんなで子育て学ぼうよ	保育園等の参観日にあわせ、マルトリートメント(不適切な養育)が子どもにおよぼす影響や、愛着形成の大切さについて保護者から学んでもらう。区内の2園において、できれば、年少組の保護者を対象にして実施。講師は子育てアドバイザー。民生委員・児童委員など地域の子育ての実情を知る方に協力してもらう。アイスブレイクを含め 60 分程度のシナリオとレジュメを部会で作り、未実施園にも参考配布する。	福祉教育
9	「親」をまなぶ… 親育ち	北区役所だよりで「親をまなぶ 1ポイントアドバイス」コーナーを設け、子育てや親育ちについて理解してもらおう。 区だよりに掲載不可であれば、「家庭はすべての教育の出発点 親育ち編」広報紙(おたより)を作成し、学校や園を通じて保護者に配布する。	福祉教育
10	お悩み相談室	悩みを気楽に相談できる場所が少なく、情報も少ない。電話相談や個人相談はあるが、時間が限られており、いつでもという訳にはいかない。肩肘張らずに気楽に悩みを相談できる相談室を開設し、悩みを自ら解決できるような援助を行う。	福祉教育
11	闘病サポートセンター	看護師や保健師、医師、栄養士、薬剤師などで、がん患者の経験者に、生活上の様々な悩みを気軽に相談し、話を聞いてもらえるような場所としてサポートセンターを開設する。糖尿病、生活習慣病、うつ病などの相談もできると良い。	福祉教育
12	福島潟のラムサール条約登録に向けたキャンペーン	スローガンを入れた横断幕を作成して北区内の各陸橋に掲示する。 ポスターを作成して小中学校や公共施設、民間事業所等に掲示を依頼する。	自然文化
13	福島潟賑わい創出事業(継続)	豊栄高校デザイン・芸術コースの学生との協働事業「福島潟の四季の魅力、ラムサール条約啓発」を発信する動画の冬・春バージョンを制作する(今年度夏・秋を制作予定)	自然文化
14	北区ゆるキャラグランプリ☆2021	北区をイメージし、世代を問わず、親しみやすく愛されるゆるキャラのデザインを、区内の小学生・中学生・高校生から募集し、区民から投票してもらい、最優秀賞を決定する。	自然文化
15	出前コンサート	市内の演奏家による学校ごとの出前コンサートを開催する。小規模校であれば全校児童対象、中大規模校であれば高学年と低学年で分かれるなどして行う。	自然文化